

当館に報告されている盗難被害の大半は、**スリ**、**置き引き**、**引ったくり** です。

また2011年に発生した件数は、**スリ**：13万4千件、**引ったくり**：1万7千件、
前年比で約2割増えています。（イタリア内務省発表）

★スリ

- ：混み合う地下鉄、バスの車両で多く発生しています。
- ：特に、市内観光や地方旅行等の出発点になるローマの中央駅「テルミニ駅」の地下鉄で
出鼻から被害に遭う気の毒なケースが少なくありません。
 - ←混んでいる車両には乗らない。イタリア人は通勤時でさえ、混んでいる車両は避けま
す。混んでいる車内は盗まれやすい状況下あると言えます。
 - ←混んでいる地下鉄に乗る際、出入り口付近で押されている間に盗まれ、そのまま犯人
は車両に乗らずに逃げます。
- ：観光名所など人混みの中で、ファスナーを開けられ、所持品を抜き取られていたことに
気づくケースが後を絶ちません。
 - ←観光名所などに行く際には、持ち物を最小限にし、かつ一つに纏めず複数に分けて所
持する。常に持ち物に気を配ることが大切です。
 - ←鞆は身体の前に持ち、チャックまたはふた付のものを使用し、人混みの中などは開口
部を手で押さえる。

★置き引き

- ：レストランでの食事中、特にビュッフェスタイルの際、食事を取りに席を立った際な
どに多く発生しています。
 - ←例えホテルのレストランでも絶対に安全とは言えません。
 - ←日本のように荷物を置いて席取りをしない。貴重品は必ず持ち歩く。
 - ←上着の内ポケットに貴重品を入れたまま椅子に掛けない。
- ：ホテルでのチェックイン、チェックアウト等の際、一瞬の隙を突かれ被害に遭うケー
スも報告されています。
 - ←鞆をカウンターの上に置き手で押さえる、床に置く場合は足で挟む等の対策が必要で
す。

★引ったくり

- ：ナポリなど南イタリアで多く発生がしています。
 - ←歩道を歩くときは、道路側を歩かない、所持品は道路側には持たないように心がけて
下さい。

最後に

被害に遭った方の多くは、「スリなど多いという話は良く聞いていたが、まさか自分が
遭うとは.」とよく言われます。
海外は日本とは違うのだ！という意識をしっかりと持ちになり、イタリア旅行が更に楽しいもの
になることを心より祈っております。